



調査期間を延長しました!! (5月16日まで)

琵琶湖博物館フィールドレポーター2020年度第2回調査 「えっ!?こんなところにもヌートリア」調査のご案内

みなさん、ヌートリアという大きなネズミの仲間を知っていますか?もともと日本にはいなかった南米原産のネズミです。水辺を中心に生活をしており、泳ぐことも得意です。日本には1940年代頃に毛皮をつくる目的で持ちこまれ、その後、特に西日本を中心に野生化した個体が広がっていきました。



写真提供：村田博之さん
(はしかけグループ温故写真)

このヌートリアは植物を中心とした雑食性ではありますが、農作物や水中にいる二枚貝も多く食べるため、各地で生態系や農業への被害が報告されています。そのため、国の外来生物法で、『特に生態系に影響をあたえる侵略的な外来生物(特定外来生物)』に指定されており、このまま分布が拡大すると、さらなる影響が心配されます。

滋賀県では2000年頃まで、あまりヌートリアの目撃情報がありませんでした。ところが、2010年頃から、「琵琶湖にカワウソがいる!」「水路でカピバラを見つけた!」という問い合わせが博物館へ届くようになりました。これらはほとんどがヌートリアの目撃情報であり、一般の方々にもよく目につく生き物となっています。現在、滋賀県では、南部を中心に多く広がっているようですが、今回の調査は、目撃例が増えてきたヌートリアについて、県内のどこにいるのか情報を集め、今後の対策などに役立ててもらうことを目的とします。

コロナ禍の中ですので、十分な対策をとった上で、無理な調査は行わずに結構です。琵琶湖の湖岸、水路、ため池などお近くの水辺を観察してみてください。なお、「いなかった」という情報も大事です。10分ほどその場所を観察していなかった時には、「いなかった」という情報をお待ちしています。撮影できたら写真も、調査票と一緒に送ってください。調査期間は2021年2月から**5月16日(日)まで**としますが、過去に見かけて、写真などを撮影したことがある場合や、目撃した日が確実に分かる過去の情報も歓迎します。

なお、調査票は、従来どおり、紙に記入し、封筒に入れて提出してもらい以外に、インターネットによる回答ができるようにもしました。気軽に報告をすることができますので、郵送が大変だった方は、ぜひこちらの方法も試していただければと思います。皆様からの情報をお待ちしています。



オンライン回答用
QRコード